

令和7年度 学校教育自己診断（考察）

【回収率】

教職員：100% 保護者：67%（前年比12ポイント減）

【各設問項目】

1. 保護者

回答率が10ポイント以上の減となりました。今回よりWEBアンケートへの切り替えを行ったことにより紙のアンケートに比べ回答への手間を感じられたものと捉えています。各項目の結果については、学校の教育活動に対する肯定的評価は全体的に高い水準にあります。特に、学習指導、進路指導、人権尊重、生徒の安全・安心、個別支援計画の説明といった学校の根幹に関わる項目で高い肯定率（多くの項目で100%）を維持しており、学校の基本的な取り組みに対して評価いただいていることが読み取れます。しかし、学校ホームページの肯定率が69%と全項目で最も低い水準にあり、設問内容を「満足度」から「活用度」を問うものに変更した結果、学校ホームページの情報源としての充実に課題があることが分かります。「安全で安心できる学習環境」「施設・設備の点検、事故防止」については微減傾向にあり、本校の施設・設備面の老朽化、立地条件等に対する懸念の現れと考えています。

記述回答については、今年度も施設の老朽化に対する不安の声を複数頂戴しています。施設の改修等に関してはPTAとも協力し府への要望を継続してまいります。

2. 教職員

多くの項目で肯定率が90%以上であり、学校運営、教育活動、生徒指導、人権尊重、情報発信など、多岐にわたる領域において、高い納得感や実施度があるものと考えています。しかし、教育内容や生徒指導といった対児童生徒の活動には高い評価が集まっている一方で、組織の運営に関しては教職員の約4割程度が課題を感じている状況（設問3・4）にあります。教職員の専門性や意欲を最大限に引き出すための組織的な仕組み（人事・分掌・意見反映）の見直しが急務であることが示されたものと捉えています。

記述回答については、人員不足からくる業務の偏重や多忙感に対する意見が多く寄せられています。また働き方改革について、教育の質を担保しつつ効率化していくことの難しさについても意見が寄せられています。

引き続き日々の教育活動において児童生徒が安心安全に学習活動に取り組めるよう、また教員自身も十分に力を発揮できるよう学校として環境整備に努めたいと考えています。

ご意見欄（要約）

【保護者】

- ・校舎、設備の老朽化への対応について
- ・不審者対応について
- ・医療的ケアの安全な実施について

など

【教職員】

- ・人員の不足、分掌等の人員配置について
- ・各教員の業務偏重について
- ・働き方改革のあり方について

など